

地域づくり活動 NPO 事業助成事業 実績報告

事業区分 (13-3)

団体名	一般社団法人パートナーズ	代表者名	(職名) 代表理事	(氏名) 玉木貴代子
事業名	ひょうご・こどもコミュニティラボ			

< 事業実施実績 >

年月日 定例は「月1回」「毎 ○曜日」等で記入	場所	参加者 一般(スタッフ)	活動内容 (勉強会や定例会、講演会、イベントなどを幅広く記入) 講演会、イベント等はタイトル・講師・会場等を併記
毎月第3(日) 計10回	市営キャナル タウン南住宅 集会所	のべ55 (のべ 33)	ロボットプログラミング 講師:(株)S&F PARTNERS プログラミング教室Makids講師
5/6、7/1、 9/2、11/18、 1/13(全5回)	鷹取コミュニテ ィーセンター	のべ25 (のべ 10)	FMわいわいコミュニティラジオ番組制作 わいわいキッズラジオ(小学生1名、中学生4名) 講師:FMわいわい代表理事 金千秋氏 理事(ミキサー) 藤田学氏

< 効果と成果 >

ロボットプログラミング講座の受講により、パソコンやプログラミングと情報リテラシーの基礎を習得しました。主体性をもちゲームやロボット操作の制作意欲が高まり、個々のスキルアップはもちろん、チームワークの体験を通じた社会性や協調性の向上がみられました。その成果として、地域イベントのこどもブース出店にエントリーする等、新たなチャレンジへの意欲が見られました。

コミュニティラジオ番組制作では、パーソナリティーへのチャレンジにとどまらず、番組のトークテーマやクイズコーナー等の企画考案にも主体的に参画しました。またYouTube配信用の動画のスイッチング、スライド制作、タイムキーパー、音源やマイクの切り替え等音響ミキサー操作も習得しました。少人数ではありますが、継続的で個々に寄り添った支援を継続することにより、こどもたちと関わる大人達、保護者さんとの強い信頼関係ができ、地域イベントへの初参画という大きなチャレンジにつながったことは大きな成果でした。

< 今後の展望 >

一般的なロボットプログラミング教室のレッスン料は高額なため、生活困窮あるいは要配慮家庭では受講が叶わず、教育格差がさらに広がる分野となっています。貧困の負の連鎖を断ち切るため、こどもへの教育機会の均等と学習支援の促進のために今後も地域での働きかけを継続していきます。体験機会や自信が持てない小・中学生の支援を地域で行うことにより、本人の主体性を引き出し、自己肯定感や認知力を高め、将来の可能性を広げるきっかけづくりを行います。本人の変化を保護者や支援者と共有し、家庭への支援にもつなげていきます。

こどもたちの活躍する姿がロールモデルとなり、次世代へ継続していくことが願いです。一団体でできる事業は限られますが、地域のネットワークとパートナーシップで、より多くの体験活動の機会をこどもたちに提供していきたいと願っております。

< 収支決算書 >

(収入)

項 目	金 額 (円)
地域づくり活動 NPO 事業助成金	400,000
自己資金	49,939
合計	449,939

(支出)

区分	項 目	金 額 (円)	左のうち 助成対象金額 (円)
直接 経費	講師謝礼	250,000	250,000
	制作費	88,000	88,000
	材料費	49,500	22,000
	その他 (人件費等)	49,340	40,000
	小 計	436,840	400,000
間接経費 (一般管理費)		13,099	0
合 計		449,939	400,000